

第217回 全経簿記検定試験 上級 一 管理会計

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1 〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計 59 点〕

問1

	損益分岐点売上高
A事業部	〔 ⑤ 6,857,143 〕 円
B事業部	〔 ⑤ 7,333,334 〕 円
C事業部	〔 ⑤ 4,571,429 〕 円
全 社	〔 ⑤ 20,137,932 〕 円

問2

変動費率	〔 ⑥ 70.5 〕 %
損益分岐点売上高	〔 ⑥ 19,796,611 〕 円

問3

結論 (閉鎖すべきである 閉鎖すべきでない) ←適切な方を○で囲む ②

理由 A事業部を閉鎖した場合、全社利益が前期と比較して 460,000 円減少するため。 ⑤

問4

C事業部マージン	〔 ⑤ 320,000 〕 円	全社利益	〔 ⑤ 280,000 〕 円
計算過程 ②			
C事業部マージン：			
$2,100,000 \times 160\% - 1,200,000 \times 80\% - 1,600,000 - 480,000 = 320,000$			
全社利益：			
$-40,000 - 700,000 + 1,200,000 \times 20\% - 480,000 + 2,100,000 \times 60\% = 280,000$			

問5

問題 C事業部マージンは前期と比較して 40,000 円減少することとなり、業績が悪化する。

よって、C事業部長の適切な業績評価ができず動機付けが損なわれるという問題が生じる。④

方法 事業部長の業績評価においては事業部マージンではなく、事業部長にとって管理可能な尺度

となる管理可能利益を用いて業績評価すべきである。例えば、管理可能残余利益を用いる。④

問題2〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計29点〕

問1

仕 損 量 〔 ㊦ 400 〕 kg

問2

月末仕掛品原価 〔 ㊦ 11,435,000 〕 円

完 成 品 原 価 〔 ㊦ 52,528,000 〕 円

問3

成形段階の廃棄物コスト 〔 ㊦ 2,084,230 〕 円

切断・研磨段階の廃棄物コスト 〔 ㊦ 7,864,237 〕 円

問4

問3の計算ではX材料とY材料を合わせて計算しているため、廃棄物に含まれる各マテリアルコスト

の把握ができない。㊦

問題3〔予想配点：各㊦点、合計12点〕

	正誤	理 由
①	○	
②	×	個々の機能や部品ごとの目標原価を積み上げて設定された原価を成行原価という。
③	×	製品別原価改善においては、目標達成のための委員会を組織し、VA活動を通じて目標原価の達成を目指す。